



竹の子のつどい

4月7日(日)毎年恒例の竹の子のつどいが行われました。今年は、双岩小、神山小の児童、保護者や教員、盛り上げ隊の方々が参加しました。竹の子掘りのポイントに到着後、地域の方から竹の子掘り方を教えていただき、さっそくトライ。うまく掘れたときには、「やったー!」と歓声を上げる子どももいました。

竹の子掘りが終わったあとは、盛り上げ隊の方々による「ビンゴゲーム」です。参加した子どもたちは、真剣そのもの。豪華景品をいただき大満足の様子でした。ビンゴゲーム終了後は、お待ちかねの「竹の子ご飯」の到着です。みんな家に持ち帰り、おいしくいただきました。竹の子のつどいを企画、運営してくださった皆様、本当にありがとうございました。



(児童の感想から一部抜粋)

ほる時は、大変だったけれど、おいしそうな物を見つけて上手にほることができました。その竹の子を食べるとおいしかったです。(麻央)

竹の子のつどいでは、双岩や神山の友達と竹の子をほりました。上手にはできななかったけれど、たくさんほることができました。(曖来々)

昨年より上手にできたのでうれしかったです。今年は、小さい竹の子がたくさんとれました。ビンゴやじゃんけんも楽しかったです。(ゆい)

この活動を通して、同じ班の人と仲が深まりました。ビンゴゲームも楽しかったです。本当にありがとうございました。(蓮斗)

竹の子のつどいは、何回も行ったことがあるけれど久しぶりに竹の子をほってみると、けっこう難しかったです。(空澄)

大きい竹の子があったけれど、土がかたくてとりにくかったです。でも、たくさんとることができました。(優奈)

土がやわらかくて、少し出ていた竹の子をほるのが一番むずかしかったです。(綾奈)

わたしは、小さい竹の子を中心にしていたけれど、弟が大きい竹の子を4つくらい取っていたのでびっくりしました。(楓)

竹の子の中心にクワが入らなかったけれど、たくさんとれました。家に帰って竹の子を食べました。とてもおいしかったです。(心咲)